

齊藤茂吉全集 第四十八卷

(第二期 二十六回配本)

昭和三十一年七月二十五日 第一刷發行 齋藤茂吉全集 第四十八卷

定價五百二十圓

著 者 齋 藤 茂 吉

發行者 東京都千代田區神田一ツ橋二丁目三番地 岩 波 雄 二 郎

印刷者 東京都青梅市根ヶ布三八五番地 山 田 一 雄



發行所 東京都千代田區 株式會社 岩 波 書 店
神田一ツ橋三ノ三

落丁本・亂丁本はお取替いたします

精興社印刷・牧製本

日
記
三

目次

昭和八年	一
昭和九年	一〇
昭和十年	一〇九
昭和十一年	三六
昭和十二年	四四
後記	一

昭和八年

一月一日 日曜、天氣晴朗。暖、

1. 午前八時起床、洗顏、雜煮納豆餅食。病室ノ年賀ヲスマス。本院ヨリノ自動車ヲ待ツニナカカ
カ來ラズ、電話ニテ催促シテ十時スギニ來ル。スデニ怒リノ氣持アリ。2. 本院ニ青木、誠二郎、
山口、輝子等ト共ニ行キ、年賀式ヲナシ、病室總廻診年賀ヲナシ。ソレヨリ西洋ノ新宅ニテ年賀
ヲナス、3. 平福、土屋、發行所年賀、明治神宮參拜ス。4. 輝子茂太ト新築武藏野館ニテエムデン
號ノ映畫ヲ見ル。エムデンノ艦長ガ „der Krieg ist ausgebrochen!“ ナド、云フ處ガオモシ
ロイ、ソレカラ英國ノ軍艦ト戰フトキニ一人ガラツバ吹キ一人ガ太鼓ヲ打チツ、艦中ヲマハル
トコロナドモ日本人ニハ珍ラシイ。ソレカラ命令ヲ傳ヘル時ニ一々繰返スノモオモシロイ。砲丸
ガ發射サレル時ニ鈴虫ノ鳴クヤウナオトガスルノガイ、石川確治先生ト坊チヤンニアフ、5. 道
玄坂キネマニ行キテ、活動狂ト云フノヲ見ルガ、滑稽劇ハムヅカシイト見エテオモシロクナイ。
コレハ少年向キノモノナリ。妻イハク「パパニハギヤツグト云フ言葉サヘオ分カリニナラナイン
ダカラオモシロイワ」實寫ハアフリカデ動物狩ヲスルトコロガ皆トーキーニナリ居ル。山猫ノ聲
ナドガヨウクキコエル。

一月二日 月曜日、クモリ。寒シ。

午前中倉橋老人來ル。看護婦柴ヲ怒ル。佐々木修。文一郎少佐。相原常吉等年賀ニ來ル。^{〔俗〕}机ニ向ヒタレドモ何モ出來ズ。午ゴロニ岡麓先生年賀ニ來ラル。夜ハ部屋ノ掃除ヲナシ。原稿等ヲイロイロ整理ス。實朝、「ナカリケリ」等ノ雜然タル原稿ヲ整理ス。

一月三日 火曜、晴、風アリ、

午前中部屋ノ大掃除ヲナス。風ニ乗ジテ塵ヲ飛バス。藤澤古實、ソノ他ノ諸君來ル。午后一寸午睡ヲナス。タヨリ山口茂吉君ト岡麓先生ヲ訪フ。ソレヨリ淺草觀世音參拜ヲナス。ソレヨリ地下鐵道ニテ家ニカヘリタリ。○入浴ヲナス。エムデン等ノドイツ書ヲ讀ム。

一月四日 水曜日、晴、

午前九時半、板坂龜尾ト警視廳、東京府、内務省ニ年賀ニマハル。ソレヨリ伊東屋ニヨリ、二タビ輝子ト帝劇、歌舞伎座立見、ソノ前ニ丸ビルノ竹葉ニテ午食ヲナス。夜ハ築地小劇場ノ芝居ヲミル。ソレヨリ銀座ニテソーダ水ナドヲ呑ム。カヘリ、溫マリ、ドイツ書ナドヲ讀ム。

一月五日 木曜日、クモリ、夜雨、

朝オソク、九時半ニ起キタルヲ以テドイツ書ヲ讀ミタルニスデニ午ナリ。午睡ナシタルニ鹿兒島氏來ル。夕食后ニ整形外形^{〔原〕}ノ大川君來ル輝子アフ。短歌入門少シクハジム。吳茂一君ヨリ菓子イ

タマク。藏櫃堂氏ヨリ子規ノ寫眞トドク。ゴオホ届ク。○夜ハエムデンノドイツ書ヨム。

一月六日 金曜日、寒氣甚シ。雨降ル。寒の入り。

午前中診察ニ従事ス。新患一人アリ。（四字削除）□□□君來リ、細君ト面會ス。午後一寸午睡ス。ソレヨ

リ夕方入浴ヲナス。頭ノ具合ワルシ。短歌入門ノ「永遠性」ト云フコトヲ書イタ、夜ニナリテニ
タビ入浴セントシタレドモ風邪氣味ユエニヤメタリ、

一月七日 土曜日、クモリ、晴レ、

午前中、短歌入門ノ「處女性」ト云フコトナドヲカク 平福先生、徳子嬢サン年賀ニ來ラル。小
島あみ子サン年賀ニ來ラル。午后午睡シ、夕食トナル。夜ハ短歌入門ヲ一寸書キ、アトハ例歌ニ
困ツテヤメタリ。例歌ニナレバナカナカムヅカシ。

一月八日 日曜。晴、風少シクアリ。

家ニアリテ部屋ニアリテ勉強セリ。（短歌入門ノ材料等） 午后、山口茂吉君ト共ニ田端ノ藪忠ニ
テアララギノ歌評會ニノゾム。そば等ヲクフ。夜ハ山口、柴生田二君ト共ニカヘル。萬葉年表ノ
正誤ヲ柴生田君ニタノム。

一月九日 月曜日、

午前勉強セントシタルニ電話ナドシキリニカ、リテハカドラズ。午後三時ヨリ中野町ノ同級生、井上胤良君ノ紹介ニテ往診セリ。*Hirnerweichung* カモ知レズ。井上君ハ淺倉屋書店ノ親類ナリトゾ。夜ハ山口、柴生田、佐藤、堀内君四君ノ歌ヲ聞シ、夕食ヲナセリ。西洋來リ名簿シラブ。入浴。コタツニアタル、○夜ヨクネムラズ。

一月十日 火曜。晴、

午前診察ニ従事ス。高野今朝治(醫員希望) 遠藤眞子(歌) 八木重良(大岡山書店) 鹿兒島壽藏兄弟君、犬丸君ト伯母サン、永石君(牛尾君) 宮澤ナホ殿家人。午后女中(ヨネ、ミヨ)ヲ淺草ニツレユキ參拜、常盤座、玉木座、米久、地下鐵道、銀座等ヲミシム。

一月十一日 水曜日、雨降ル。山口ノ妻君寐汗ニツキ診察

午前診察ニ従事ス。雨フル故ニ患者少シ。午後本院ニ行ク。爲助ニ慶應ノ話ヲナセリ、午后六時ゴロカヘル。夜、鈴木忠一君一關ニ行クニツイテイトマゴヒニ來ル。大橋松平君來リ、廣野三郎君來ル。山口茂吉君來ル。正誤表ヲナス。

一月十二日 木曜日、曇ノチ晴、

午前中頭ノ工合ワルシ。丸藥一ツノミ。左千夫輪講ノ歌ヲ書キテ午ニナリタリ。ソレヨリツマケテ午后ニ至ル。一寸眠ラントシテサメタリ。午后、母、輝子育兒會ヨリ演舞場ニ行ク。僕モ演舞

場ノ五郎劇ニ行ク。三宅、栗山、下條、ソノ他ノ諸君ニアフ。近藤夫人ト三人ニテ濱作ニテ食フ。

一月十三日 金曜日、寒氣強シ。クモリ、

午前中診察ニ従事ス。患者三人バカリアリ。渡邊草童、大橋松平（歌五ツワタス）、橋本欣也ノ諸君。午後一寸コタツニテ寐。アララギ選歌ヲハジメテ其二、Aヲ終ル。夜土屋文明君來ラル。アララギノ請待ノ件ナリ。選歌ヲツマケタリ。午前一時マデ選歌シテ大體終了ス。餅食フ。

一月十四日 土曜日、寒シ。晴、

朝ヨリ机ニムカヒ、左千夫歌集輪講ノ三月號分ヲ書キタリ。午食ノ時ニ相原常治夫妻來リテ二時マデ相手ニナリ。ソレヨリ一首解釋シテ。三時マデ午睡シ、ソレヨリ二タビ書キ足シテ四時半ニ大體終了ス。午後六時ヨリ溜池ノ富士川ニテ赤坂區醫師會新年宴會ガアツタ。警察關係ノ諸氏ニモ逢ツタ。カウイフ簡單ナ會合デモ、疲勞シテ、執筆ノ邪魔ヲシテコマル

一月十五日 日曜日、晴、寒氣甚シ。

朝、アララギノ請待狀ニ四名ダケ署名ヲナス、ソノ時ニ東京武藏野病院ノ主事〔原〕ガ上ノ山ノ月

岡ホテル〔原〕ツレテ金融ノコトニツキテ話ニ來ル。青木ガ面會シテ話キク。午後一寸睡ラントシタルニ〔三才館〕□□氏退院セリ。西洋、青木、母上來ル。十二氏退院セリ。小田島氏年賀ニ來ル。午後ヨリ出羽嶽ガ高登ニ勝ツ。夕方、山口茂吉君來ル。夜ハ讀書シタリ。

一月十六日 月曜、晴、

朝、平福先生ガオイデニナラレテ、アララギ記念ノタメノ繪ヲタマハル。今日ハ出羽嶽ガ大浪ニ勝チテ銀盃ヲモラフ。夜ハ三宅先生ノ御招ニテ日本橋偕樂園ニ行ク。カヘリニ櫻田五郎君ト共ニ栗本庸勝先生ヲ見舞フ。一月一日ニしびれ來リ、五日ニワルクナリシヨシナリ。

一月十七日 火曜日、ひぞれ、^{〔原〕}

午前中診察ニ従事セリ。午后圓タクニテ國技館ノ出羽海會ニテミニ行ク。出羽嶽ガ太郎山ニ負ク。ソレヨリ牛肉ヲクフ。須藤氏ト一シヨナリ。入浴ス。血壓ヲ計ル。三宅先生ニ別刷贈ル。

一月十八日 水曜日、晴、

午前中診察ニ従事ス。午后ハ本院ニ行ク。總廻診。爲助ト共ニ六時ゴロカヘリタリ。手紙ノ整理ヲナシタリ。山口茂吉來リ高安氏ノ歌稿ヲ閱ス。今日ハ少シク歌集ナドヲヨミテ寐タリ。

一月十九日 木曜日、晴、ヤ、暖。

午前九時半ニ平福先生ト共ニ銀座千足屋ニ行キ林檎ヲ買ヒ、ソレヨリ大森山王ノ徳富蘇峰先生ヲ訪フ。並木仙太郎氏モオイデニナル。大井ノ停車場ヲ少シスギ、乗合ノ通路道デ左側ニガソリン屋ノアル處ノ右ヨリ入リ、シバラクユキテ鐘詰ナドヲ賣ルトコロヨリ左ニ曲リシバラク行キテ左

側ナリ。ナラ櫟ノ林ナドアリ。石段ノボル。中林梧竹翁ノ八十七歳ノ書ノ額アリ。ソレヨリ應接間ニハ梧竹、春畝、山縣公、百穂ノ乃木將軍、御先代ノ八十七歳ノ書ノ額、獸皮シキアリ。先生ノ御話、コノゴロ餅ナドクヒキル。アララギノ會ニハオ出席ノ豫定ニテ居ラレタリ。アララギハ年トツテモアマリオトナシクナラナイ方ガ却ツテヨイ。ソノ方ガ本領デオトナシイ方ハ佐佐木先生ナドガ居ラレル。アララギノ歌人ニハナラナイガしんばグラキニハナリウル。南博士云。京都グラキマデハ行ツテモヨイガ、熊本マデハ遠スギル。イツデチ行カレルトコロデナケレバコマル云々。ソレヨリ丸ビルニ來リテ百穂先生ト午食（鯛ちや）。ソレヨリ山口君ヲ訪フ。佐藤佐太郎君ニ會フ。ソレヨリ岩波書店ヲ訪ヒ。神田ノ古本店ヲ訪ヒ。夜ハ佐藤佐太郎君ト共ニ淺草ニ行キテ常盤座ヲミル。榎の健ノ、學生ト就職ノ場面、大ニオモシロシ。學生ト就職。學校教員等。

一月二十日 金曜日、晴、

午前中ハ移轉シタル方ノ診察所ニテ診察ス。景氣ヨシ。小山二郎（出版業、安倍能成氏親戚）、大橋松平、某夫人歌ミテモラヒニ來ル。別府ノ霸王樹社會員ガ子規庵ノ紹介モラヒニ來ル。午後西山徳次郎氏來ル。餅クヒ。一睡ス。夕食スすし食フ。西洋來ル。山口君來ル。夜ハマルクス全集第一卷ヲ讀ミ、○Pfaffentumヲ得タリ。十二時ゴロ寐タリ

一月二十一日 土曜日、ハレ、夜雪降ル。

午前中勉強ス。北海道ノ歌ヲ整理セントシタルモナラズ、午后國技館ニ出羽嶽ノ後援會ニ行ク。

出羽嶽ガ双葉山ニ負ク、武藏山沖ツ海ニ負ク。ソレヨリ幸樂ノアラギ二十五周年祝賀會ニノゾム會者三十三名バカリナリ。印刷所ノ濱野氏外三名バカリ來ル。土屋君ガ少シクハヤク歸ル。ソノアトニテ餘興ナドイロイロヤリテ十時ニ散會ス、158圓バカリカ、リタリ。街ヲアルクニ雪フリハジメタリ。歩イテカヘリ、十一時スギナリ、ソレヨリ入浴セリ。夕刊ニ預選歌公表ニナリタリ。

一月二十二日 日曜。雪大ニ降ル。

午前中、平福先生ニ電話ヲカケテ。明日ノ編輯會ノコトヲ話シタリ。ソレヨリ日記ナドヲ書ク。ソレヨリアラギノ北海道ノ歌ヲ淨書ス、大熊長次郎君ガ二十一日午前七時ニ死去セリトゾ。明日午後二時ニ告別式ナリ。午ニ今井邦子サン新著ヲ持參ス。鈴木金二君、泉幸吉君、西山徳二郎君、山口茂吉君ト神田ノ鮫鱈鍋ニテ夕食ヲナス。

一月二十三日 月曜日、晴、

朝自動車ニテ大熊長次郎君ノ告別式ニノゾム。コレハ午後二時ナルモ、アラギノ編輯會ノタメニハヤメタルナリ。今井邦子サンニアフ。家ニカヘリテ餅ヲクフ。午后本郷ニ一寸マハリテ神田末初ニテアラギノ編輯會ニノゾム。平福百穂、岡麓、土屋文明、竹尾忠吉、結城哀草果、齋藤茂吉ノ六人ナリ。高田ハ信州ヘ講演旅行ナリ。コレハ森山汀川ノキモ入ラシイ。アラギ發行所ニカヘリ來リ。哀草果ハ青山通ノ旅館ニトマリタリ。ネムレザリシトゾ。ヨクネムラント思

ヒアダリンヲ飲ム。

一月二十四日 火曜日、晴、頭痛

午前中診察ニ従事セリ。朝、山口君來リタリ。柳屋主人。

〔四字削除〕

□□□氏入院料持來ル。山本初枝サ

ン歌集。西山徳次郎氏。午ニ結城君來ル。午后三越ニ行キタリ。ソノ前ニ西山徳次郎君來リテ金
300圓ヲバアラギ二十五年祝賀會ノ中ニ寄附シタリ。ソレヨリ朝日新聞社ニ行キテ土岐善麿君
ニ今タノ會ノ支會者タランコトヲタノム。ソレヨリ三越ニ行ク。ソレヨリカヘリテ二十分バカリ
ネムリ。ミグレニンヲノム ソレヨリ五時少シク前ニ東京會館ノアラギ二十五周年祝賀會ニノ
ゾム。

一月二十五日 水曜、晴、

午前中診察ニ従事ス。中勘助氏來ル。久保とよ子氏等來ル。外來ニ芥川氏未亡人トオバサン來ル。
午后本院ニ行キテ總廻診ヲナセリ。夕、西洋、輝子ト共ニカヘル。西洋ハ學會ニ行ク。山王下ノ
宇佐美ニテ二十五日會ニノゾム藝者ナドツマラナイ。カヘレバ結城袁草果、山口來ル。時事記者
來ル。結城一泊ス。今タハ酒ノマザリキ。

一月二十六日 木曜日、晴、

午前中、志文内ノ歌ヲ少シクミタリ。岡四郎氏來ル。午睡一時間半。タヨリ青山會館ノ古本市ニ

行キテ八圓アマリ買フ。ソレヨリ雅叙園ノ植松博士ノ招宴ニノゾミ○歌ナドウタフ。西洋來ル。山口君來リ、印刷ナドヲ依頼セリ。

一月二十七日 金曜日、晴、

1.自動車ニテ入澤先生、田代先生ニヨル。ソレヨリ整形外科ノ高木教授ニアフ。ソレヨリ松坂屋ノ綜合展ヲミル。

2.カヘリテ午食、ソレヨリ堺利彦先生ノ告別式ニノゾミテ四時マデキタリ。イロイロノ人ノ演説、弔詞ナドヲ讀ム。非戰論ナドイロイロアリタリ。

3.青山會館ノ古本市ニ行ク。侍醫高木逸麿博士、金子準二技師等ニアフ ○ソレヨリ炬燵ヲカケタリシテマルクスノ文章等ヲ讀ム。西洋來リ、母上來ル、輝子ハ近藤夫人ト共ニ五郎劇ニ行キタリ。宴會ギラヒノ僕ハ今夜ハジメテノンビリシタル氣持ナリ。

○今日ノ報知新聞ノ夕刊ニ河上肇博士ノ歌ト俳句トガ載ツテキタ。『たどりつき振り返り見れば山川を越えては越えて來たるものかな』、『すてし身を日と日にひらふ命かな』トアル、何ダカ平安朝歌人カ、元祿俳人ノモノヲ讀ムヤウデアル。○土屋文明君ハ僕ガ山口君ニ頼ンダ原稿ヲバ出サヌ、『ボクガアヅカツテオク』ナドト云ヒシ由也。○富豪岡崎久次郎氏ノ令息、岡崎俊郎君ガ父君ノ私財百萬圓ヲ投ゲ出サセ、西田天香師ノ指導デ「光ノ村」ヲ建設シヨウトシ、『例の見スボらしい登山服姿で廿七日午前九時半首相官邸を訪ひ、玄關前ノ凍雪にひざまづいて、同君積年ノ主張たる「相續税倍額安國論」の陳情書一卷を捧げ、』云々、嗚呼遊戲々々。

一月二十八日 土曜。晴。

家ニアリテ作歌セントスレドモ能ハズ、一寸午睡ス。體タユシ。午后西洋輝子ト千疋屋、美松等ニヨリテ買物等ヲナス。入浴ヲナス。うなぎヲ食フ。泡鳴全集ヲミル。

一月二十九日 日曜。晴、

午前十一時ニ三宅先生ノ處ニ堀内伊太郎及夫人、西洋淑子同道ニテ挨拶ニ行キタリ。ソレヨリ堀内ノ家ニ立寄り、東京堂ニヨリテカヘル。午后ハアラギ發行所ノ面會日ニテ非常ニ疲ル。約四十名バカリノ歌ヲミタリ。夜、山口、佐藤二君ト話ス。今井邦子サンヨリ土屋文明君ノ憤怒ノコトニツキ電話アリ。

一月三十日 月曜日、晴、青木細君女兒安産（午前五時）

午前ニ北海道ノ歌ヲ作ラントシタルガナカナカ出來ズ、三四首ツクル。ソレヨリ處々ニ電話ニテ祝宴ノ出席ヲタノム。一寸炬燵ニテ午睡ヲナス。午后西洋來ル。體ノ具合ガダルイノデ明治神宮ヲ散歩シテ残雪ヲミ、短歌數首アリ。家ニカヘリテ一寸一時間バカリ寐タリ。ヤ、風氣味ナリ。夜食ニ雜炊ヲ食ス。山口君來リ夕食ヲナス。西洋カヘル。母上輝子同道ニテカヘル。

一月三十一日 火曜日、晴、

午前中診察ニ從事ス。〔三字削除〕□□氏夫人來リテ〔三字削除〕□□君ノコトヲ談合ス。佐藤佐太郎君、今井美沙緒様御主人等來ル。午食ニ餅。地曳專治君、新海竹藏君、齋藤知二君來ル。庭上ヲ散步ス。夕方西洋來ル。イロイロニテ何モ出來ズ、午睡モセズ。入澤先生ヨリ速達便イタダケリ。

二月一日 水曜日、晴

午前中診察ニ從事ス。五人バカリアリ。來客、岡先生、橋本欣也君、上岡市之助君（古川氏ノタメニ金ヲモラヒタシ云々）怒ツテ擊退ス。帝都日々新聞社員前田進平。芝松太郎等ノ諸氏。春日野親方、田代先生等ゾクゾクト祝賀品イタダク。午后本院ニ行ク。患者發見ス（丸ビル）、三宅先生御夫婦祝ヒニワザワザ御イデ下サル。爲助腹痛ニテ青木往診。青木細君貧血、○マルクスノ資本論等ヲ讀ミタリ。留守中、芥川未亡人、又午前ニ院代、高畑、三田來ル、三田ノ細君ハ養生園ニ入院ス。

二月二日 木曜日、晴、

青木細君ハ發熱ニテ39°。爲助ハ腹膜炎ヲシク平義智君診テ、相談アリ。直チニ慶應別館ニ入院セシメタリ。福岡夫人等ゾクゾク祝ヒニ來ラル。爲助ハ外科ノ木村教授執刀手術セリ。穿孔性腹膜炎。午后五時ヨリ堀内家ノ人々來ラレテ、宴會ノテールノ順序等ニテ打合せヲナシ、十一時マデツバク。西洋ト共ニ十一時ゴロヨリ慶應ニ爲助ヲ見舞フ。受持ノ瀬尾智三氏イロイロ骨折リテクレタリ。處々ニ手紙出ス。